

2026年2月16日

## 2026年3月期 第3四半期決算のお知らせ

あかつき証券株式会社

あかつき証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：工藤英人）の2026年3月期第3四半期決算（日本基準・連結）は以下のとおりとなりましたのでお知らせします。

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期の第3四半期連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,681	△3.5	11,584	△3.9	1,595	0.8	1,694	7.6	1,155	△0.3
2025年3月期第3四半期	12,106	-	12,053	-	1,582	-	1,574	9.6	1,158	20.8

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 1,121百万円（△1.7%） 2025年3月期第3四半期 1,140百万円（13.3%）

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第3四半期	29	26	-	-
2025年3月期第3四半期	29	34	-	-

（注）1 2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、表示方法の変更に伴い表示の組替えが行われたため、記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	61,472	9,184	14.9	232.29
2025年3月期	44,202	8,539	19.3	215.96

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 9,175百万円 2025年3月期 8,530百万円

## 2. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

当社グループの主たる事業である金融商品取引業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、連結業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	39,500,791株	2025年3月期	39,500,791株
2026年3月期3Q	—	2025年3月期	—
2026年3月期3Q	39,500,791株	2025年3月期3Q	39,500,791株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

## 【添付資料】

### ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 連結損益計算書の四半期推移	9
(2) 預り資産	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）における我が国の経済は、堅調な企業業績の持続を背景に雇用情勢・所得環境に改善の動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、米国をはじめ主要国における通商政策の影響による世界経済の不確実性や地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が継続しております。

こうした状況の下、当社グループでは、コアビジネスである金融商品仲介ビジネス（以下、「IFAビジネス」と言います。）の拡大、及び金融機関等とのアライアンスの強化を戦略的に推進しました。

IFAビジネスでは、契約仲介業者による顧客サポートの充実に貢献すべく、強みとする対面サポート体制の強化に加え、システム面での利便性向上や商品ラインナップの拡充などを進めております。対面サポート体制については、オペレーターによる米国株式の電話受注時間を20時まで延長し、米国株式取引の強化を進めました。また、よりタイムリーな投資情報を提供するため、デイリーのマーケット情報を配信するサービスや債券スキルアッププログラムを開始しました。システム面においては、外国債券取引に関する必要書面交付の電子化対応を進め、IFAポータルサイトにはAIチャットの導入や営業支援コンテンツの大幅な拡充に取り組みました。また、サイバーリスクの高まりに対応すべく、クラウドで提供する全てのシステムについて脆弱性診断と診断結果に基づく改修を実施し、セキュリティの強化を図りました。商品面では、新NISA制度の対象銘柄を中心に国内投資信託の取扱本数を830銘柄まで増加させ、併せて外国投資信託の取扱いを拡充したほか、外国債券についても最低券面未満取引の対象銘柄を拡充し、顧客の投資機会の拡大に努めました。加えて、11月より「預かり資産残高連動手数料コース（愛称：チョイス!）」を拡大リニューアルし、顧客の投資目的や運用スタイルに合わせて手数料コースを選択できるようサービスの向上を図りました。

金融機関とのアライアンスについては、4月にしん証券さかもとを持分法適用会社とし、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社（以下「JWA」という。）においては株式会社Innovation IFA Consultingの委任型IFA部門を買収し、当社グループの営業基盤強化を図りました。さらに地域金融機関においては、10月に愛知信用金庫と業務提携を行うなど、新たなアライアンス先の開拓と既存提携先とのリレーション強化に努めています。

結果として2025年12月末の契約仲介業者外務員数は1,959名（2025年3月末比65名増）、JWAの提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は、7,967億円（同1,706億円増）、IFA部門の預り資産残高は5,138億円（同1,135億円増）と拡大しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は11,681百万円、（前期比3.5%減）、純営業収益は11,584百万円（同3.9%減）、販売費・一般管理費は9,988百万円（同4.6%減）、営業利益は1,595百万円（同0.8%増）となり、経常利益は1,694百万円（同7.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,155百万円（同0.3%減）となりました。

主な収益・費用の状況は以下のとおりです。

**【受入手数料】**

受入手数料の合計は 6,348 百万円となりました。科目別の内訳は以下のとおりです。

[委託手数料]

委託手数料は、国内株式取引を中心に 3,811 百万円となりました。

[募集・売出しの取扱手数料]

募集・売出しの取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に 1,526 百万円となりました。

[その他の受入手数料]

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に 1,008 百万円となりました。

**【トレーディング損益】**

トレーディング損益は、債券の販売を中心に 4,773 百万円となりました。

**【金融収支】**

金融収益は 559 百万円となりました。また、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は 461 百万円となりました。

**【販売費及び一般管理費】**

販売費及び一般管理費は 9,988 百万円となりました。主な内訳は取引関係費 5,977 百万円、人件費 2,774 百万円、事務費 665 百万円、不動産関係費 344 百万円となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

[資産]

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 17,269 百万円増加し 61,472 百万円となりました。これは、現金・預金が 4,458 百万円、預託金が 10,200 百万円、差入保証金が 2,826 百万円増加したこと等によるものです。

[負債]

当第 3 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて 16,624 百万円増加し 52,287 百万円となりました。これは、預り金が 17,021 百万円、信用取引負債が 776 百万円増加し、短期借入金が 1,400 百万円減少したこと等によるものです。

[純資産]

当第 3 四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて 645 百万円増加し、9,184 百万円となりました。これは、剰余金の配当で 500 百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益で 1,155 百万円増加したこと等によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	10,860	15,318
預託金	23,800	34,000
トレーディング商品	7	16
約定見返勘定	936	567
信用取引資産	4,682	4,833
信用取引貸付金	4,471	4,615
信用取引借証券担保金	210	218
差入保証金	1,471	4,297
未収入金	455	219
未収収益	275	431
その他	240	158
流動資産合計	42,729	59,843
固定資産		
有形固定資産	299	316
無形固定資産	251	286
投資その他の資産		
投資有価証券	540	679
長期差入保証金	174	169
その他	382	352
貸倒引当金	△175	△175
投資その他の資産合計	921	1,025
固定資産合計	1,473	1,628
資産合計	44,202	61,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	1,157	1,934
信用取引借入金	873	1,420
信用取引貸証券受入金	284	513
有価証券担保借入金	193	130
預り金	22,468	39,490
受入保証金	800	974
短期借入金	8,900	7,500
未払法人税等	164	241
賞与引当金	237	140
未払金	949	979
未払費用	171	277
その他	122	110
流動負債合計	35,165	51,779
固定負債		
退職給付に係る負債	225	237
役員株式給付引当金	100	116
その他	116	98
固定負債合計	442	451
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	55	55
特別法上の準備金合計	55	55
負債合計	35,663	52,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,067	3,067
資本剰余金	1,349	1,349
利益剰余金	4,084	4,763
株主資本合計	8,501	9,180
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	29	△5
その他の包括利益累計額合計	29	△5
新株予約権	9	9
純資産合計	8,539	9,184
負債・純資産合計	44,202	61,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益		
受入手数料	4,971	6,348
委託手数料	3,102	3,811
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	5	2
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	1,262	1,526
その他の受入手数料	601	1,008
トレーディング損益	6,699	4,773
金融収益	435	559
営業収益計	12,106	11,681
金融費用	53	97
純営業収益	12,053	11,584
販売費・一般管理費	10,471	9,988
取引関係費	6,882	5,977
人件費	2,469	2,774
不動産関係費	309	344
事務費	607	665
減価償却費	78	95
租税公課	71	72
その他	52	58
営業利益	1,582	1,595
営業外収益	16	109
営業外費用	24	10
経常利益	1,574	1,694
特別利益	2	-
特別損失	13	0
税金等調整前四半期純利益	1,563	1,694
法人税、住民税及び事業税	352	504
法人税等調整額	52	34
法人税等合計	404	539
四半期純利益	1,158	1,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,158	1,155

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,158	1,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△34
その他の包括利益合計	△18	△34
四半期包括利益	1,140	1,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,140	1,121
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、(株)しん証券さかもとは、株式を追加取得したことにより持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、「証券関連事業」という単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	78百万円	95百万円

(追加情報)

(表示方法の変更)

当社グループは、外貨建て預金の運用収益を、従来、「営業外収益」の「受取利息」で表示しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「営業収益」の「金融収益」で表示することとしました。

これは、当社グループが外国株式及び外国債券など外貨建て金融商品の取引拡大を進める中で、当該取引と関連性の高い外貨建て預金の運用収益について、その性質を、より適切に連結財務諸表へ反映させるために見直しを行ったことから、表示方法の変更を実施したものであります。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取利息」に表示していた330百万円を「営業収益」の「金融収益」に組み替えております。この結果、「営業収益」、「純営業収益」、「営業利益」がそれぞれ330百万円増加し、「営業外収益」が330百万円減少しております。

### 3. 補足情報

#### (1) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前連結会計年度				当連結会計年度		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	2024. 4. 1 2024. 6. 30	2024. 7. 1 2024. 9. 30	2024. 10. 1 2024. 12. 31	2025. 1. 1 2025. 3. 31	2025. 4. 1 2025. 6. 30	2025. 7. 1 2025. 9. 30	2025. 10. 1 2025. 12. 31
営業収益							
受入手数料	1,733	1,498	1,738	1,939	1,660	2,192	2,496
トレーディング損益	2,336	1,973	2,390	1,818	1,321	1,671	1,780
金融収益	138	146	150	177	125	234	198
営業収益計	4,208	3,618	4,279	3,935	3,107	4,098	4,475
金融費用	16	18	18	48	26	39	31
純営業収益	4,192	3,600	4,261	3,887	3,080	4,059	4,444
販売費・一般管理費	3,582	3,202	3,686	3,359	2,736	3,484	3,766
営業利益	609	397	574	527	343	574	677
営業外収益	9	4	3	17	7	13	87
営業外費用	3	3	17	5	6	0	2
経常利益	616	397	560	539	345	587	762
特別利益	-	-	2	-	-	-	-
特別損失	0	6	7	14	0	0	0
税金等調整前当期純利益	615	391	556	525	345	587	762
法人税、住民税及び事業税	79	136	136	118	53	233	217
法人税等調整額	122	△111	41	△39	74	△55	16
法人税等合計	201	24	178	79	127	177	233
当期純利益	413	366	378	445	217	409	528
親会社株主に帰属する 当期純利益	413	366	378	445	217	409	528

(注)「四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」に記載のとおり、外貨建て預金の運用収益を、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、営業収益の金融収益に計上することとしております。

(2) 預り資産

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間末 (2024年12月末)		当第3四半期 連結会計期間末 (2025年12月末)		前連結会計年度末 (2025年3月末)	
	実績	前年 同四半期比	実績	前年 同四半期比	実績	前期比
預り資産	649,075	133.1%	796,784	122.8%	626,085	112.3%
うち IFA	409,080	143.9%	513,830	125.6%	400,293	125.5%

- (注) 1 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。
- 2 2025年10月より、一部顧客の預り資産の区分をウェルスマネジメント部門から金融商品仲介サービス部門に変更しました。当該変更に従い、2025年10月以前の数値も遡及して変更しております。